



新たな出発
持続可能な
濟州観光へもう一度、飛躍

Re-leap of Sustainable Jeju Tourism

済州観光の現況

美しくクリーンな自然

多様な希少生物と絶滅危惧種など
9700種以上の生物が
済州独特の生態系を構成



生物体
9700種以上



ユネスコ
自然環境分野の認証
すべて獲得



ラムサール湿地
5か所



地域観光の発展指数
4回連続で最高レベル
(文化体育観光部発表)



スマート観光都市
3年連続で広域1位
*慶熙大学-コンシューマーインサイト発表



済州特別法
観光3法を移譲
(観光振興法、国際会議育
成法、観光振興開発基金)

観光市場の推移および動向



観光客 (23年9月末現在)
観光客合計 10,072千人(月平均112万人)
昨年同期比 923.8% 9倍増加

韓国人 8.3% 減少 ▼

外国人 918.4% 増加 ▲



航空機の運航
昨年同期比 2.2% 減少

供給席 4.7% 減少 ▼

搭乗率 2.3% 増加 ▲



クルーズの入港
39回寄港 58,455人(10.4)

23年は59回寄港で58,455人訪問(9月)
'24年は360回の寄港が申請されている

濟州観光の SWOT 分析

濟州ノービザ、チャーター便の支援システムを構築 ✓
クリーンな環境を有し、カルム・海女など独特なローカル文化を体験 ✓
高級リゾートホテル、カジノ、クルーズなど優れた観光インフラ ✓

Strengths 強み

Opportunities 機会

開発/目的別の多様な旅行需要の増加 ✓
短距離の海外旅行が主流で中国と近い ✓
ローカル観光時代、濟州の村、食べ物を活用した商品が人気 ✓

✓ 中国の観光市場に依存→海外市場への拡大が必要
✓ 貸し切りバス運転手、中国語通訳案内など人材確保の問題
✓ 低価観光、不親切など観光のイメージ改善が必要

Weakness 弱み

Threats 脅威

✓ 海外旅行の増加による収支の赤字
✓ 国際線航空便の回復が遅い
✓ 国際姿勢、レート、ビザの便宜性が変動の要因





持続可能な濟州観光へもう一度、飛躍



I. 世界に羽ばたく濟州

- 外国人観光客のアクセスの向上のための海外直航路線の拡充
- アジア最高のクルーズ観光地としての飛躍
- ASEAN+α 施策を強化し観光領土を拡大
- APECの濟州招致を通じ、濟州の価値及び韓国の地位を全世界に刻印



II. 質の観光へ飛躍

- 地域の住民とともに地域観光の統合ブランド「カルムステイ」を開発及び育成
- 最高のワーケーション選好地でワーケーション聖地としての立地の構築
- 「2020プラスチックゼロの島、濟州」を実現するための低炭素観光の推進

III. 新成長産業に連携する未来観

- 民間の宇宙産業インフラの構築及び産業育成と連携した宇宙体験の産業化
- 新たな体験観光の濟州観光型UAMの常用化の推進
- グリーン水素バスから水素トラム観光などのグリーン水素の活用範囲の拡大



1-1

新たな出発、持続可能な済州観光へもう一度、飛躍

世界に羽ばたく済州 | 海外直航路線の拡充

ASEAN加盟国を対象に

▶▶ 外国人観光客のアクセスを向上 ◀◀

済州直航の不定期路線

済州直航(定期)
新規路線の就航を推進



インセンティブの支援
(8億ウォン)



対象国家

ASEAN 10か国

(インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム、シンガポール、カンボジア、ミャンマー、ラオス、ブルネイ)

推進状況

多国籍機が済州空港に就航するためのスロット確保を関係機関と協議 (*23.8)

済州～ASEAN路線の拡充と関連し、(株)Tway航空と懇談会 (*23.8)

今後の計画

済州起点の国際線を拡充するために航空会社との懇談会を推進

済州空港のスロット拡充を関係機関(国土部、航空庁、航空公社)と協議

支援対象

定期直航路線のない外国の都市と済州間を運航する
不定期の直航路線

* 1便につき約10百万ウォン(但、中国本土路線を除く)

追加支援

制度を積極的に活用：

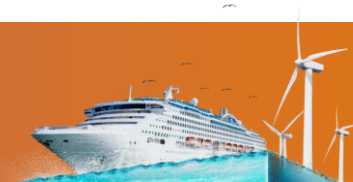
済州ノービザ国家発のチャーター便にインセンティブを追加支援(2百万ウォン)

地域業者の育成：

済州地域の旅行会社にインセンティブを追加支援(1百万ウォン)

* 2023年1～7月：6か国9都市に33便を支援

クルーズ観光客にカスタマイズしたコンテンツを開発し、アジア最高のクルーズ観光の目的地に成長させる



2024年クルーズ船申請現況

区分	計	中国発	その他	備考
計	360	298	62	
済州港	206	172	34	日本13、香港3、 ワールドワイド18
江丁港	154	126	28	日本23、台湾5

中国のクルーズ観光客を対象にマーケティングを推進

- ☑ 寄港クルーズごとに観光客をターゲットにした公共交通(グローバルタクシー)
* 連携観光プログラムを広報
- ☑ 中国人の高付加価値クルーズ観光客の満足度を上げる歓迎イベントを推進
- ☑ 中国現地の広報オフィスと船社共同でクルーズ商品を開発、支援、広報

日本発のクルーズ観光客の維持および観光消費の促進マーケティングを推進

- ☑ 横浜発の大型クルーズ船社および韓国内のインバウンド旅行会社の共同
ファームツアー
- ☑ 東京クルーズ船社および専門旅行会社を対象に済州寄港地の商品開発の説明会
- ☑ 日本発の済州寄港クルーズ船内で済州観光の説明会を推進、
1対1のカスタマイズ情報を提供

1-3

新たな出発、持続可能な済州観光へもう一度、飛躍

世界に羽ばたく済州 | ASEAN+α



ASEAN+α 政策

済州の地政学的なメリットと未来成長のポテンシャルを活用
地方政府の外交領域をASEANとインド - 太平洋、アラブ諸国まで拡大する戦略

済州フォーラムの開催

2023.05.31~06.02



シンガポール済州オフィスの開所

2023.06.23



1-4

新たな出発、持続可能な済州観光へもう一度、飛躍

世界に羽ばたく済州 | 2025APEC を招致



アジア太平洋経済協力

Asia-Pacific Economic Cooperation



APECサミット！今、ここ済州です。

APECの3大重点要素

貿易と投資

成長企業の誘致・育成、
ASEAN+α



イノベーションとデジタル経済

UAM、
民間宇宙産業



持続可能かつ包摂的な成長

グリーン水素のグローバルハブ、
プラスチックゼロ、青年のための政策



済州の価値

済州の価値と相通ずるAPECの3大重点要素
済州のブランドと大韓民国の位相を全世界に知らせる



2-1

新たな出発、持続可能な済州観光へもう一度、飛躍

質の観光へ飛躍 | 滞在型地域観光の育成



地域観光の統合ブランド「カルムステイ」を開発、育成

☑ 済州の小さなマウル(町)を意味する「カルム」とステイを結合した言葉で、「泊まる」「休む」「ゆとり」「やさしさ」などをコアバリューにした済州の地域旅行のこと。

*カルム：済州の東側、西側を「東カルム」「西カルム」、南側、北側を「下カルム」「上カルム」と呼ぶ。

UNWTO(国連世界観光機構)のベスト・ツーリズム・ビレッジに選定('23.10.19)

細花マウル協同組合

新興2里のツバキマウル(町)



観光事業

(海女体験、ニンジン商品、ワーケーションセンター、カフェの運営)



済州道記念品第27号
ツバキ群落地をテーマにした商品の開発

ツバキ資源の高付加価値化
(工芸品、化粧品、体験プログラムの開発)

大企業とマウル(町)の共生構造の確保
(MOU締結、デザイン開発、販路開拓、ツバキの植樹)

観光商品の運営に住民が参加
(ツバキ農夫、ガイド、ツバキ料理プログラム、宿の運営)

地域共同組合の設立

(住民494人が2億7千万ウォンを出資)

年間4億ウォンの収益を創出



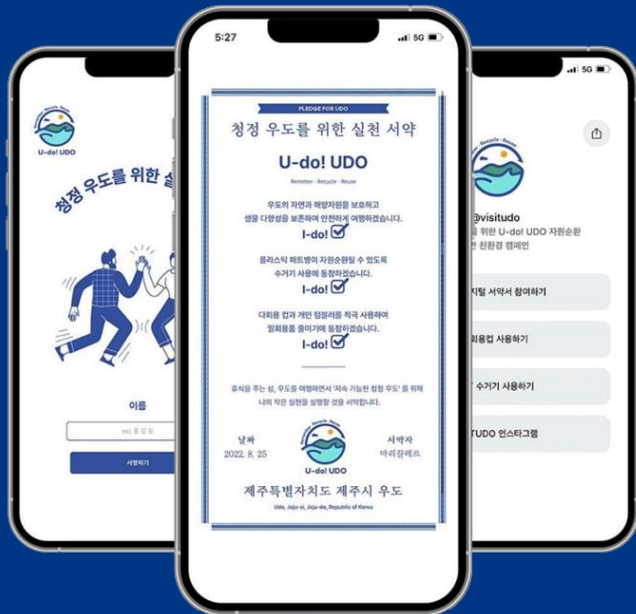


「使い捨てコップのないクリーンなウド」 キャンペーン事業

環境にやさしい旅行向けウドデジタル誓約書の開発

- ☑ 済州特別自治道-済州観光公社-ウド面住民自治委員会-SKT-(社)ヘンボクコネクト 多者間協定による観光客参加型低炭素観光キャンペーンの展開

環境にやさしい旅行向けウドデジタル誓約書の開発



AI基盤のリユースブルコップ資源循環システムの運営

売り場12か所、待合室2か所

利用者が返却機で
リユースブルコップを返却
→デポジットの払い戻し

リユースブルコップの
回収
安心洗浄場に持ち込み
(道頭洞所在)

洗浄されたリ
ユースブルコップは
再度ウド内のカフェに
供給されてリユースされ
る



2-3

新たな出発、持続可能な済州観光へもう一度、飛躍

質の観光へ飛躍 | ワークेशन商品の開発

「ワークेशन」の聖地、済州

- ☑ CJENM、現代デパート、ネイバー、フリマアプリ「キャロット」、宿泊予約プラットフォーム「ヤノルジャ」などワークेशनプログラムを導入
今後も世界の企業が導入される傾向にあり、デジタルノマドは増え続けている




グリーン水素のグローバルハブを構築

再生可能エネルギーとグリーン水素に移行する **エネルギー大転換ロードマップ**




韓国初で最大のグリーン水素生産基地



 済州市朝天邑咸德里にある韓国内第1号のグリーン水素供給所

グリーン水素とクリーンエネルギー基盤の社会

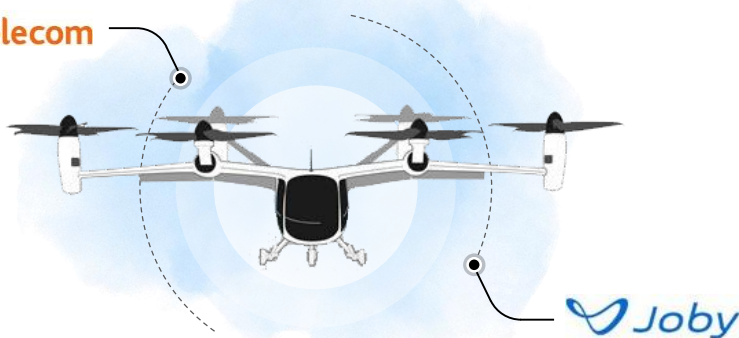


 交通、産業、暮らしのほとんどの領域に拡大

済州観光型UAMの商用化を推進

- ☑ 済州道は、山間と都市地域の交通、運送システムを補い、空の観光コンテンツとして活用できるUAMを済州に最適な交通手段として採択
- ☑ 他地域より軍事施設や高層ビルが少なく、四方を海に囲まれているという利点がある

SK telecom



UAMのシステム環境を發展させる
全般的な相互協力

K-UAM
グランドチャレンジをリード



「韓国の新フェイス」の拠点、済州



小型衛星発射体



衛星地上局サービス



衛星データの活用

民間宇宙産業のバリューチェーンを構築

CONTEC

済州市 翰林邑
民間の衛星地上局12局を建設中

アイオプス

国家衛星運営センター産業に参画

ペリッジエアロスペース

国家衛星運営センター産業に参画

下半期に追加発射予定

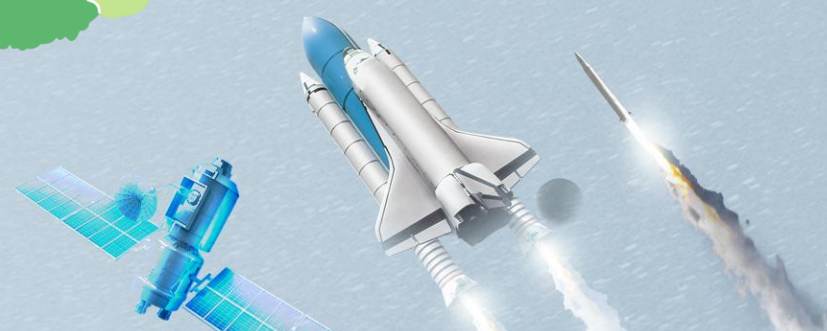
21年12月

23年下半年

国家衛星運営センターの設置

22年11月 舊左邑 徳泉里

低軌道衛星の統合管制運営



新たな出発



持続可能な濟州観光へ

ありがとうございました!

